

当センターにおいて診療を受けた患者さん・ご家族さんへ

診療報酬データと認知機能・生活機能評価データの研究利用に関するお願い

【研究課題名】

高齢患者の認知機能・生活機能が入院医療のプロセス・アウトカムに及ぼす影響の検証

【研究の目的】

本研究は、2016年7月以降の当センターの診療に係る診療報酬データ(DPCデータ)と入院時に収集した認知機能・生活機能の評価データ(DASC-21データ)を、患者さん個人が同定できないように完全に匿名化して研究用データを作成し、入院時の認知機能や生活機能が入院医療の過程や成果にどのような影響を及ぼすか分析することで、高齢者医療の質をより一層向上させることを目的としています。

【利用するデータ】

DPCデータ:厚生労働省の規定に基づいて収集しているデータで、保険診療に必要なものです。年齢、性別、病名、手術・処置・薬剤等の種類、入院期間、医療費などの情報を含みます。

DASC-21データ:入院時に記入をお願いしている認知機能・生活機能(21項目)と認知症行動障害(6項目)に関するデータです。

【データ利用者の範囲(研究実施体制)】

研究責任者

東京都健康長寿医療センター研究所 福祉と生活ケア研究チーム・研究部長 平田匠

共同研究者

東京都健康長寿医療センター研究所 福祉と生活ケア研究チーム・研究員 光武誠吾

東京都健康長寿医療センター 精神科・部長 古田光

東京都健康長寿医療センター 認知症支援推進センター・係長 畠山啓

東京都健康長寿医療センター 薬剤科・薬剤科長 島崎良知

東京都健康長寿医療センター 理事長 鳥羽研二

東京都健康長寿医療センター 名誉理事長 井藤英喜

東京都健康長寿医療センター フレイル予防センター長・健康長寿医療研修センター長
荒木厚

東京都健康長寿医療センター 総合内科・高齢診療科・部長 岩切理歌

東京都健康長寿医療センター 総合内科・高齢診療科・医員 片岡 愛

東京都健康長寿医療センター研究所 福祉と生活ケア研究チーム・非常勤研究員 矢野翔平

【研究期間】

研究倫理審査委員会承認後から 2026 年 3 月 31 日まで

【研究実施の際の倫理的手続き】

本研究は、当センターの研究倫理審査委員会による審査を受け、研究実施の承認を得た後に、文部科学省と厚生労働省が定めた「人を対象とする医学系研究に関する研究倫理指針」に従って実施します。

通常の診療で発生した過去の DPC データと DASC-21 データのみを使用する研究ですので、患者さん一人ずつから直接のご同意をいただくかずに、このお知らせをもって患者さんからご同意をいただいたものとみなさせていただきます、本研究を実施いたします。

本研究の実施に際し、患者さんの費用負担や謝礼などはございません。

研究の趣旨をご理解いただき、本研究における DPC データ・DASC-21 データの使用について、ご承諾くださいますよう、お願いいたします。

本研究におけるデータ利用を希望されない場合や、研究に関するご質問がある場合は、下記へご連絡ください。

【お問い合わせ先】

＜データ利用を希望されない場合・苦情対応について＞

東京都健康長寿医療センター 健康長寿イノベーションセンター

電話:03-3964-1141 内線 2035 (受付時間:月～金 8:30～17:15 土・日・祝祭日を除く)

＜研究に関するご質問＞

東京都健康長寿医療センター研究所・福祉と生活ケア研究チーム(医療・介護システム研究)
平田匠

〒173-0015 板橋区栄町 35-2

電話 03-3964-3241 内線 4226 (受付時間:月・水・金 9:00～17:00 土・日・祝祭日を除く)